



伯耆みらい元気太鼓による元気いっぱいの演奏



迫力ある演奏に拍手を送る観客

町制10周年の記念事業、「故郷まちづくりコンサート」が3月14日、鬼の館で開催されました。

コンサートには、鳥取県警察音楽隊、町内中学校吹奏楽部、伯耆みらい元気太鼓が出演しました。当日は、和太鼓の迫力ある演奏がオープニングを飾り、警察音楽隊による軽快な吹奏楽の演奏や中学校吹奏楽部とのジョイント演奏など楽しいコンサートとなりました。コンサートの最後に、唱歌「ふるさと」を約250名の来場者とともに客席と一体になつて歌い、10周年記念事業のフィナーレとなりました。

伯耆町制10周年記念事業

〜故郷まちづくりコンサート〜



レイアウトを工夫する参加者



子どもと一緒にアルバム作り

スクラップブック教室が3月10日、溝口公民館で開催され、乳幼児を持つ保護者5人が参加しました。

スクラップブックは、写真を美しくレイアウトして思い出をより鮮やかに残していくペーパーラフトで、今回はアルバムを作成しました。

参加者は、わが子の写真を持ちより、集中して作品作りに取り組みました。あつという間の時間でしたが、それぞれ思いの作品を作ることができました。育児の合間のよい息抜きになり、保護者同士の交流も図ることができました。参加者からは「楽しかった」「また参加したい」との声が聞かれました。

子どもの成長を振り返って

〜スクラップブック教室〜

まちのわだい



世界ゲートボール選手権大会に挑む
上昇気流の選手たち



とっとり花回廊で演奏した
鬼面太鼓振興会のメンバー

伯耆町ゲートボール協会「上昇気流」と「鬼面太鼓振興会」が、日本海新聞ふるさと大賞2014を受賞し、表彰式が3月19日、伯耆町役場で開かれました。

この賞は、日本海新聞ふるさと創り事業団が、スポーツ振興と地域発展に寄与した個人、団体を表彰するものです。

上昇気流は、昨年9月に新潟市で開催された、「第11回世界ゲートボール選手権大会」に日本代表として参加し、世界20か国90チーム中準優勝となるなど、多くの大会で輝かしい成績を収めたことが評価され、スポーツ功労賞を受賞。

鬼面太鼓振興会は、結成後20年の間、地域のお祭り、福祉施設などで数多く演奏を行っている他、地域の小学生で結成した、おに子太鼓の育成、小学校の夏祭りでの演奏など、地域の青少年育成、文化振興も積極的に行っていることが評価され、地域貢献賞を受賞しました。

今後の活躍にさらなる期待

〜日本海新聞ふるさと大賞〜



地域づくりにおける青年の役割について話す志々田准教授



表章を受ける日光女性会の代表者

第6回鳥取県西部地区町村社会教育研究大会が2月15日、日南町役場交流ホールで開催され、西伯郡、日野郡内から多くの教育関係者が参加しました。

はじめに日南神楽神光社の威勢の良い演舞でオープニングを飾りました。つづいて、社会教育活動に精励し、その功績が著しく他の模範となる個人及び団体の表彰式が行われ、7名が受賞されました。伯耆町からは日光女性会が受賞されました。

また「青年と地域づくり」と題して、広島経済大学准教授の志々田まなみさんの講演が行われました。志々田さんは、若者の減少、働いていない、働けないでいる者の増加、結婚しない、結婚できない者の増加など、若者を取り巻く現状について話しました。

参加者は社会教育の大切さを改めて確認していました。

ともに生きともに学ぶまちづくりをめざして

〜第6回鳥取県西部地区町村社会教育研究大会〜